

2022年

クイーン倶楽部だより10月号

第236号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟

新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070
FAX0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail office@eco-rice.jp

新米の収穫が始まりました

秋なのに真夏日の稲刈りで大汗!台風14号の影響で県内の最高気温が37.8℃。東南アジアの稲刈り並みの暑さです。



その
39

Dr.Nobbyのセルフチェック健康

紫斑病

紫斑は主に腕の前腕にできる紫色の出血斑のことです。腕や脚などにみられる皮下出血で、その出血跡が赤色でなく紫色に見えるためです。腕だけでなく全身見られるようになると「紫斑病」という病名になります。その本体は血管からの血液の漏れやすい、つまり出血傾向ですが、原因は大きく分けて、ある病気の症状としての紫斑病(症候性紫斑病)と、高齢に伴う老人性紫斑病があります。症候性には、アレルギー性、血小板減少性、腎障害性、血友病などがあります。

多くは高齢者みられる、机の角などにぶつけて手や脚に出血し、治ってはまたあざができるという老人性の紫斑病です。血管がもろくなりちょっとしたことで出血し、繰り返すという特徴があります。血液さらさらの薬を飲んでいる方は大きく膨らんだ紫斑になります。紫斑は見た目が恰好悪いので包帯で隠すことになります。

紫斑病は若い人で、腹部や背中にもできるようにであれば何かの病気かの検索が必要ですが、高齢者では、やや厚めの長袖を着て予防することです。乾布摩擦でこする、手足に力を入れ筋肉増強を行う、皮膚乾燥を防ぐためのプロペト軟膏・ヒルドイド軟膏などは有効ですが、ステロイド軟膏は厳禁です。



中村 信也 (なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学名誉教授。まほろば東京クリニック院長。「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。